

分泌液回収用奴隷

タリ責め編

飽きがこないように、
じつくり、たっぷり、苛めぬく

回収終了

彼食終
に車お

女勇者は絶体絶命の窮地に立たされていた

始まりの町から少し離れた小さな森で上位種の魔物に出会ったのだ

どうして…

圧倒的なしゝ差

倒すことも逃げることとも叶わない

深く息を吸い、空を見上げ、死を覚悟した…



死を受け入れた女勇者に
魔物は2つの淫紋を刻んだ

雌の淫紋

性的な興奮を
長期間維持する効果、
絶頂時の快感を増大させる、
幻覚、幻聴、精神錯乱、
脳や神経の破壊、
睡眠障害、等の効果がある

陰核肥大の淫紋

陰核(クリトリス)を
肥大化させる効果、
神経の増加により
感度が数倍になる

2回の淫紋を刻まれた
女勇者は、その場で
2回絶頂に達した



放心状態の女勇者は
動くことができない

彼女には、何が
起きているのか
まるで理解ができていない

酷く歪んだ視界と
電流が脳に流れるような
快楽だけを認識していた

数回、絶頂に達したのち
女勇者は意識を失った



捕らえられた女勇者は
牢屋で目を覚ました

周囲からは
淫らの声が
聞こえてきた…

上位種の魔物は、
女勇者に状況の説明した

自分たちの目的は、
人間の女の出る
分泌液から魔族用の
長寿薬を作ること

この部屋は回収部屋と
呼ばれる場所であること

規定値の分泌液が
回収出来たら
宿舎で休むことが
できること



一通りの説明を終え、
魔物は本日の
回収を始めた

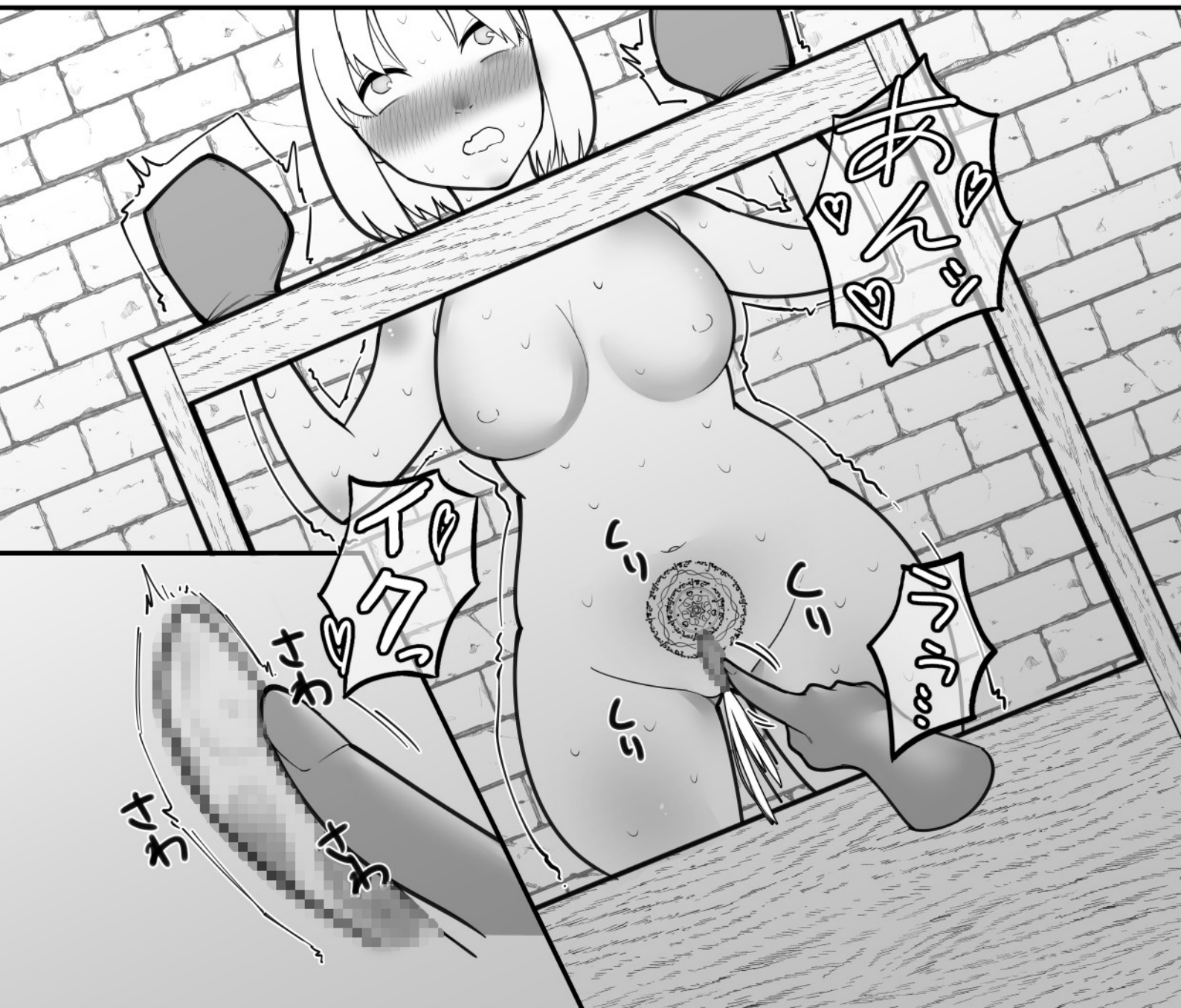
魔族の回収には、
4つの「考え方」があった

①体を固定し快楽から
逃げられないようにする

②強い刺激を避け、
優しく、ゆっくりと扱い、
興奮状態を維持させる

③休息と食事は
十分にとらせる

④進んで魔族に
協力するほうが
幸福であると
信じ込ませる



人は快感を感じると、
それから逃れようと
体を振らせ快感を
和らげようとする

だが、魔族は
それを許さない

おん♡
♡ん♡
♡ん♡

身体を1cmも
動かないように固定し
ほんの小さな刺激でも
イケるようにする

淫紋との相乗効果で、
女勇者はいとも簡単に
絶頂に達するのだった

ちゃあ!!?

♡あ♡
♡あ♡
♡あ♡
♡あ♡
♡あ♡
♡あ♡

♡ん♡
♡あ♡
♡♡

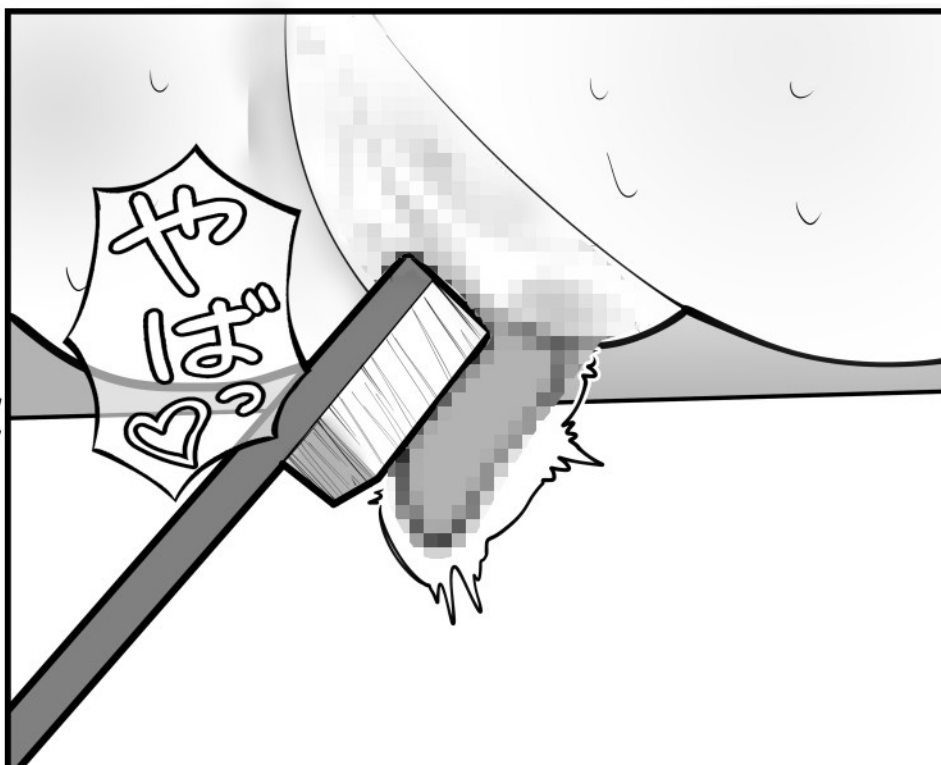
じい
じい
じい
じい



※精液回収用の人間の奴隷

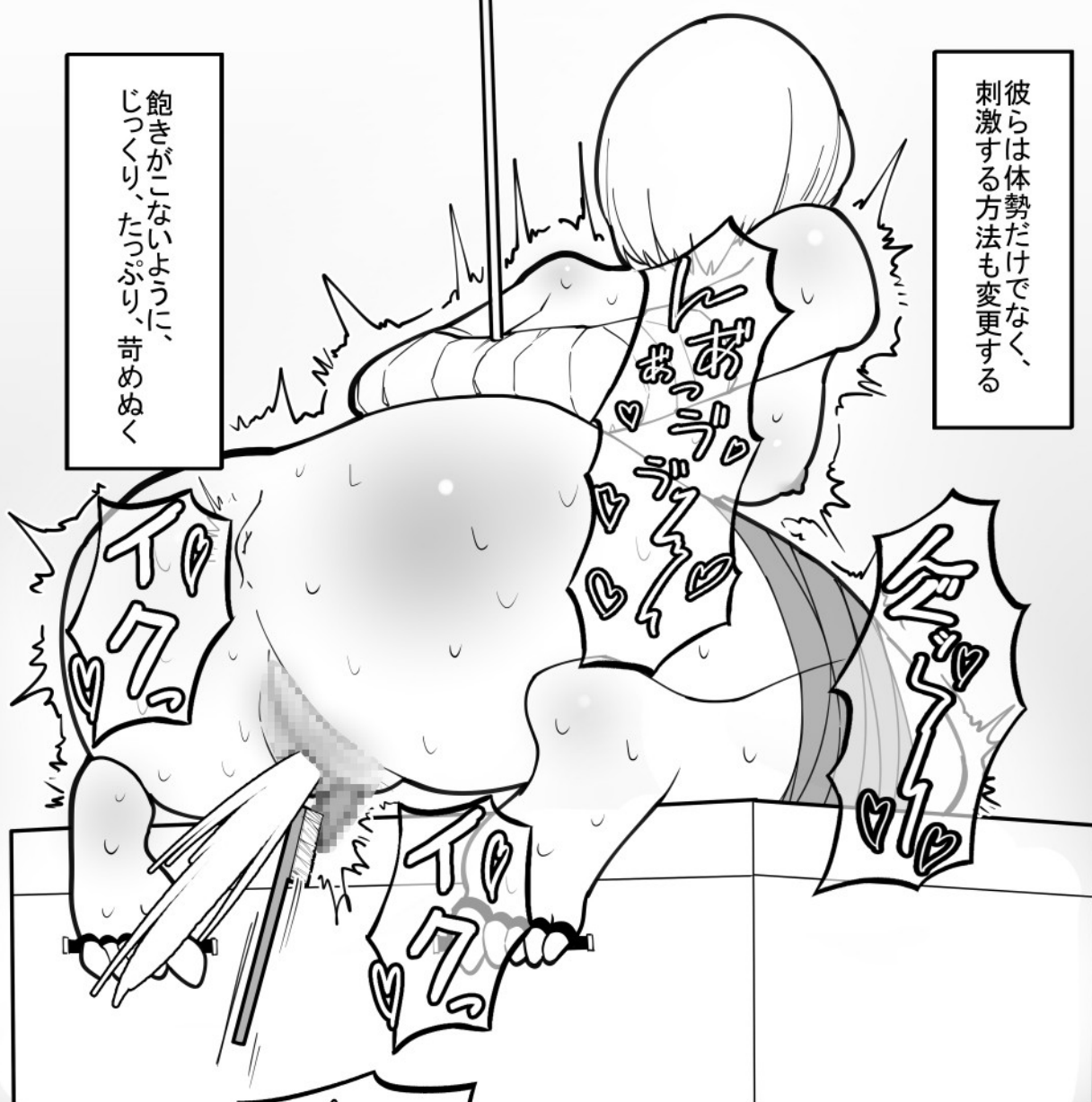
魔物は奴隷に
飽きがないように
1時間ごとに体勢を変える

それは非常に
効果的な手法で、
絶頂回数が増え、
飛躍的に向上した



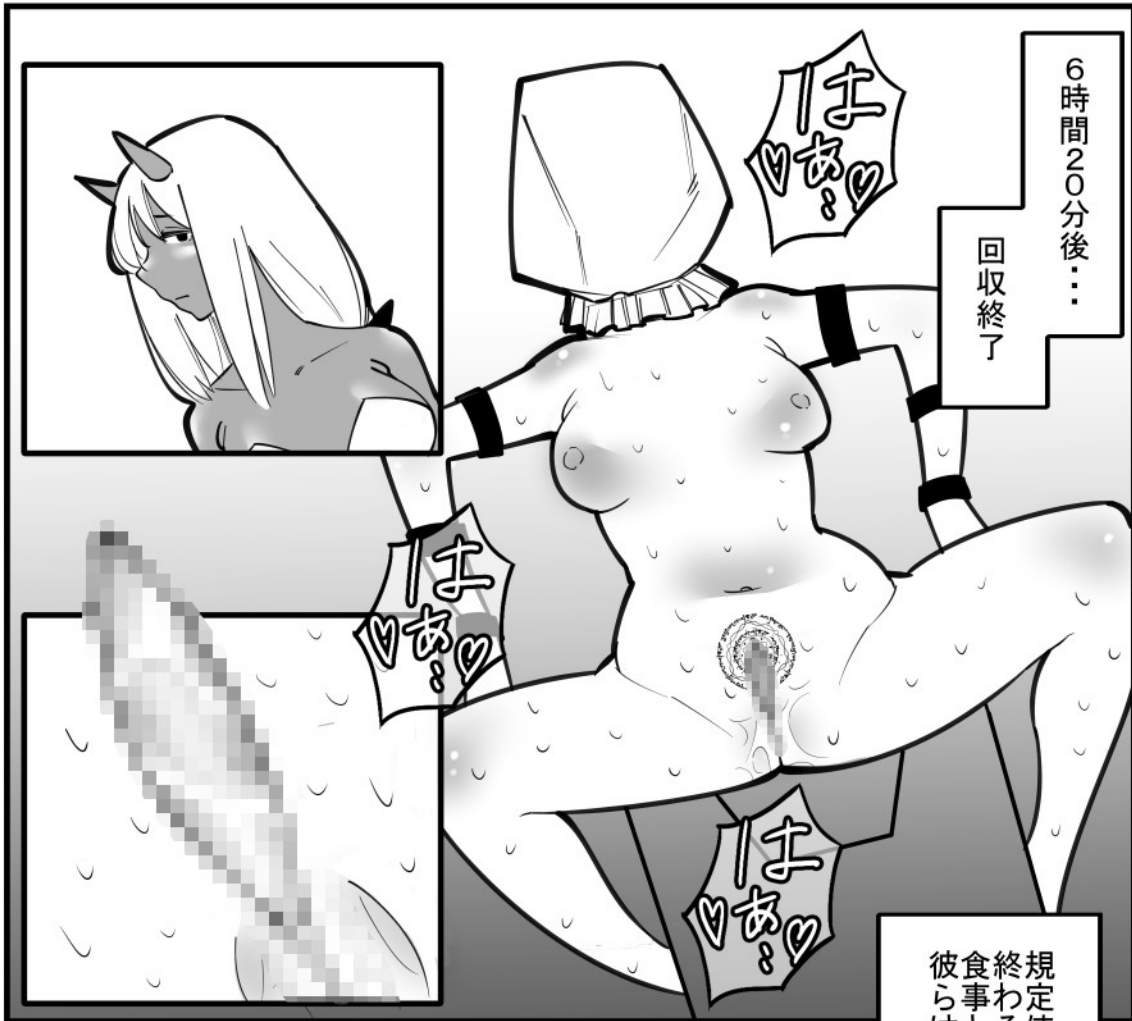
彼らは体勢だけでなく、
刺激する方法も変更する

飽きがこないように、
じつくり、たっぷり、苛めぬく



回収用奴隷が
壊れない
ギリギリの
責めを続けるのだ

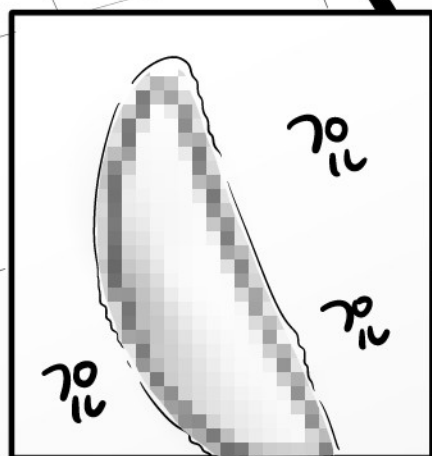




翌日

女勇者は、
昨日と同じ部屋で
目を覚ました……

彼女がここ出来ることは
ただ一つ、
とにかく耐えること



昨日の回収と淫紋の作用で
クリトリスが肥大していた

当然、感度も数倍になっており
風に触れるだけでもイキそうな
ほどであった

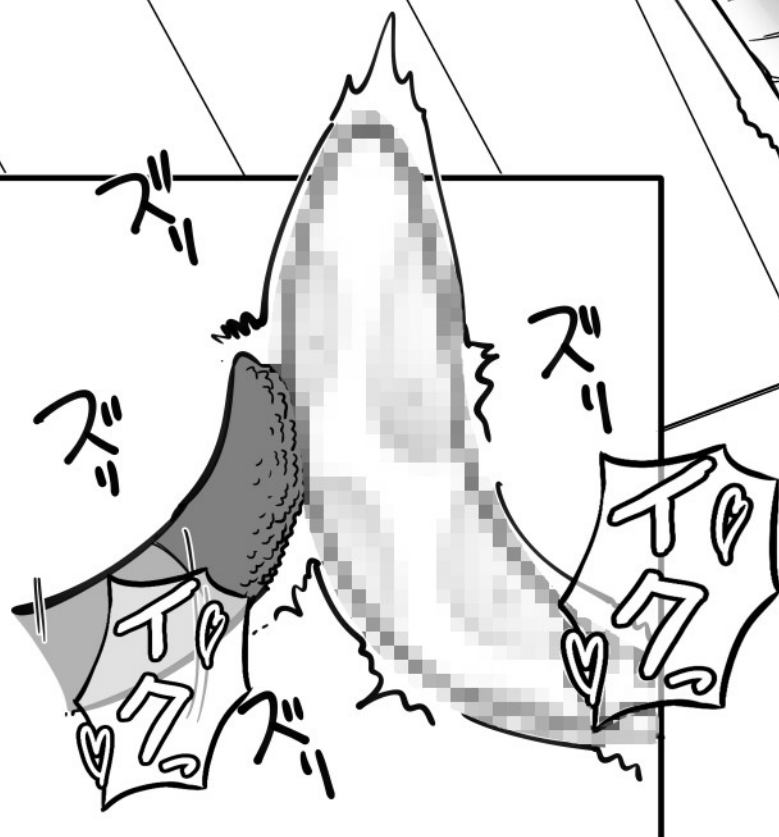


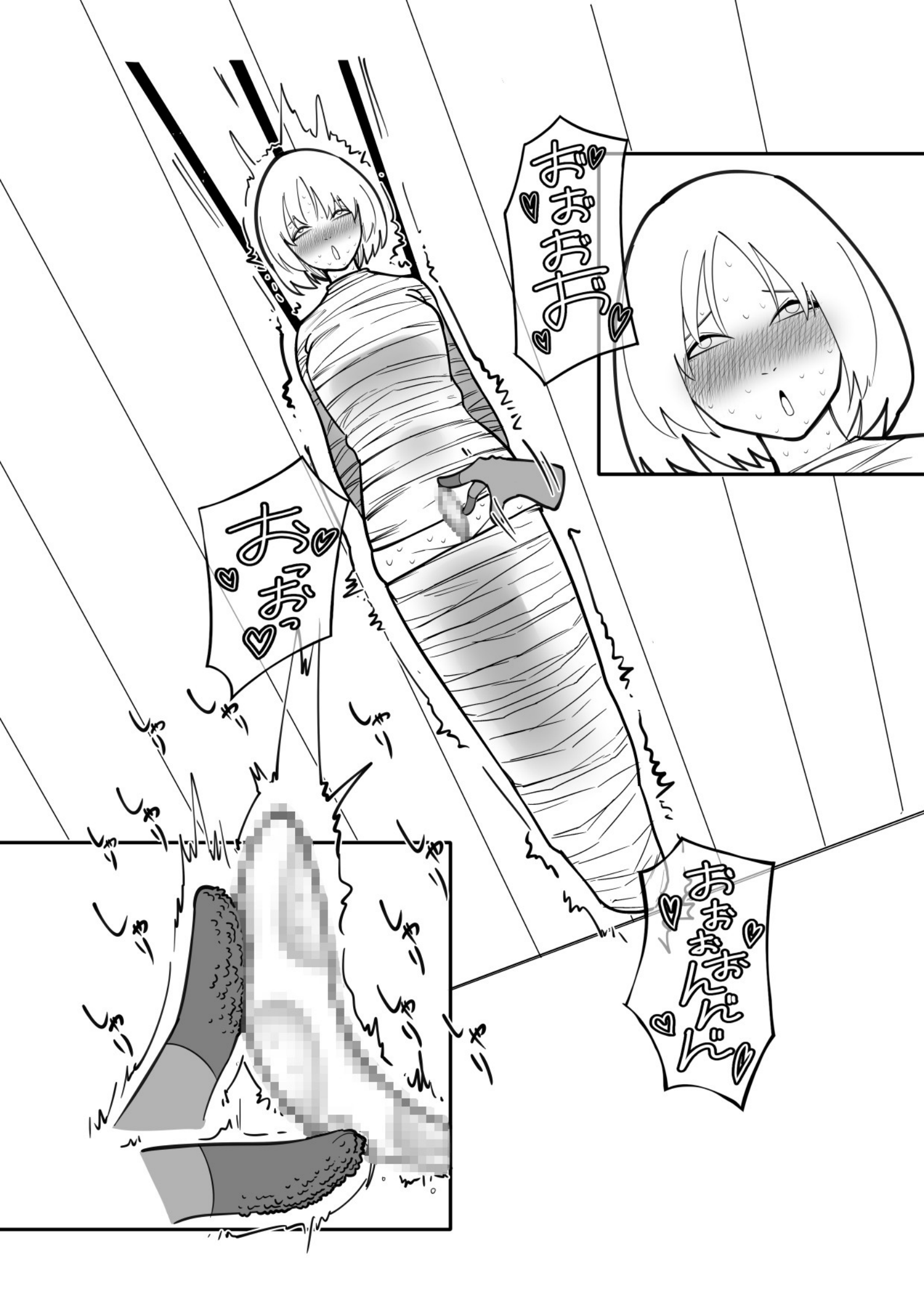


回収が始まってすぐ
目の前が真っ白になり
脳が溶ける感覚に
陥っており



すでに何度イッたか
本人でも分からなく
なっていた

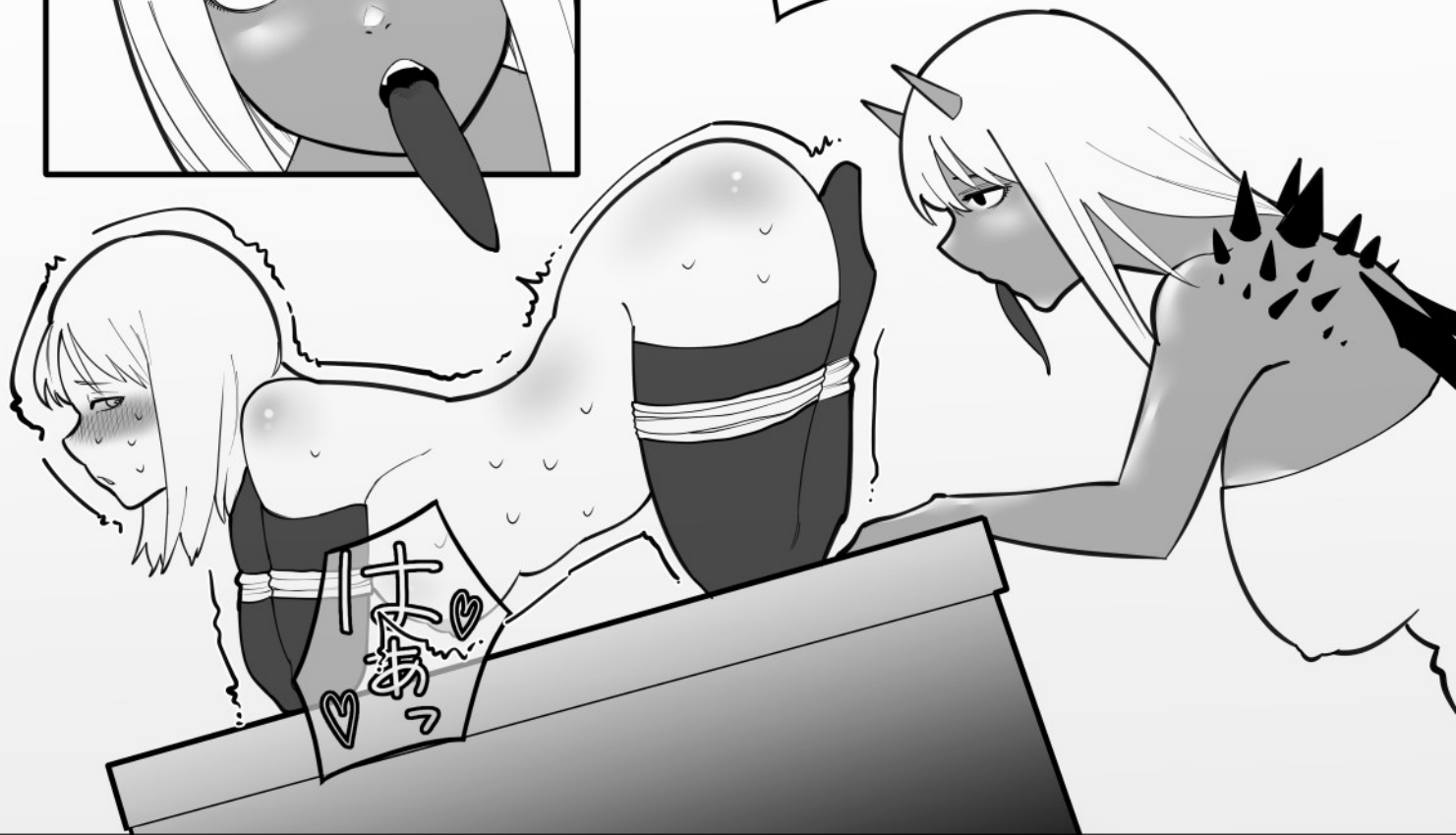


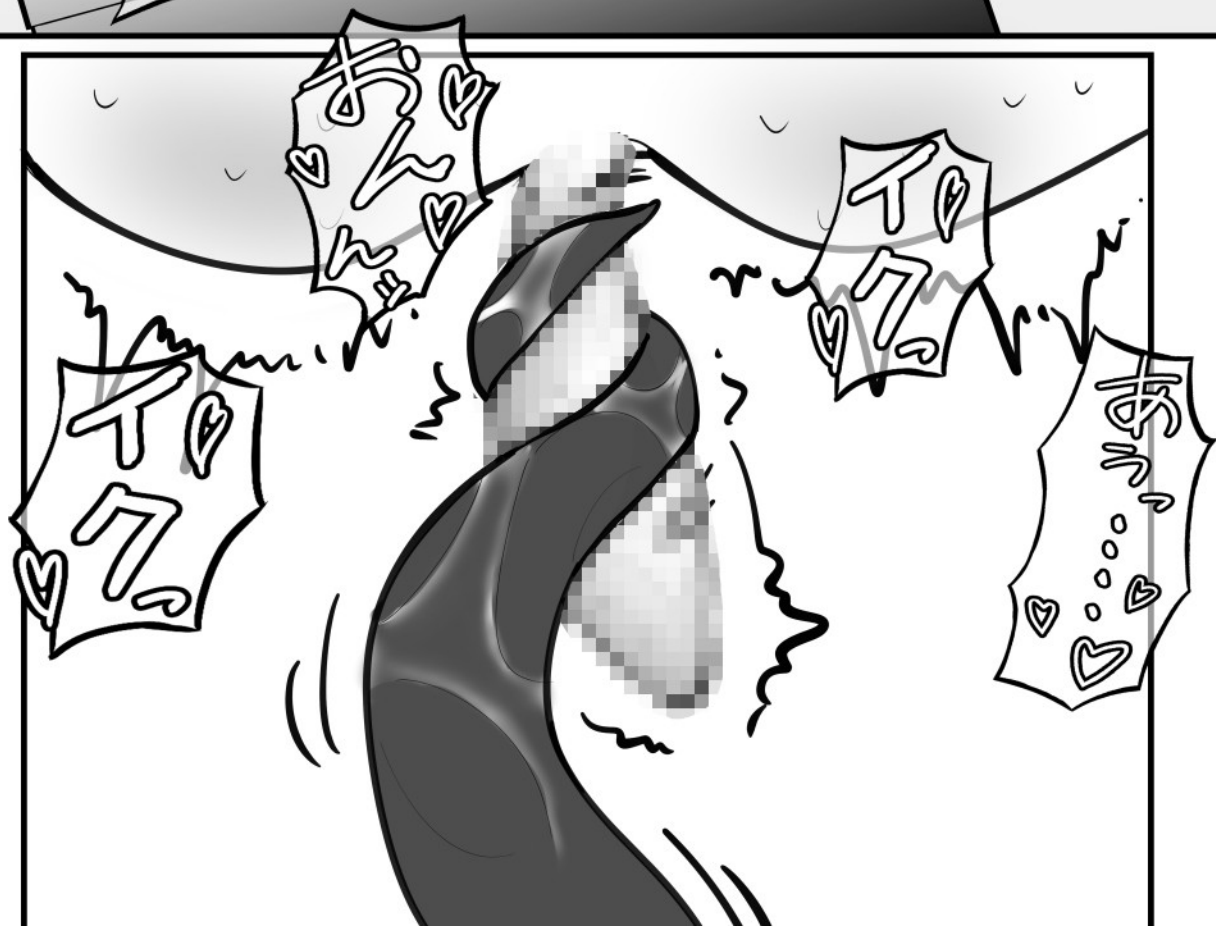


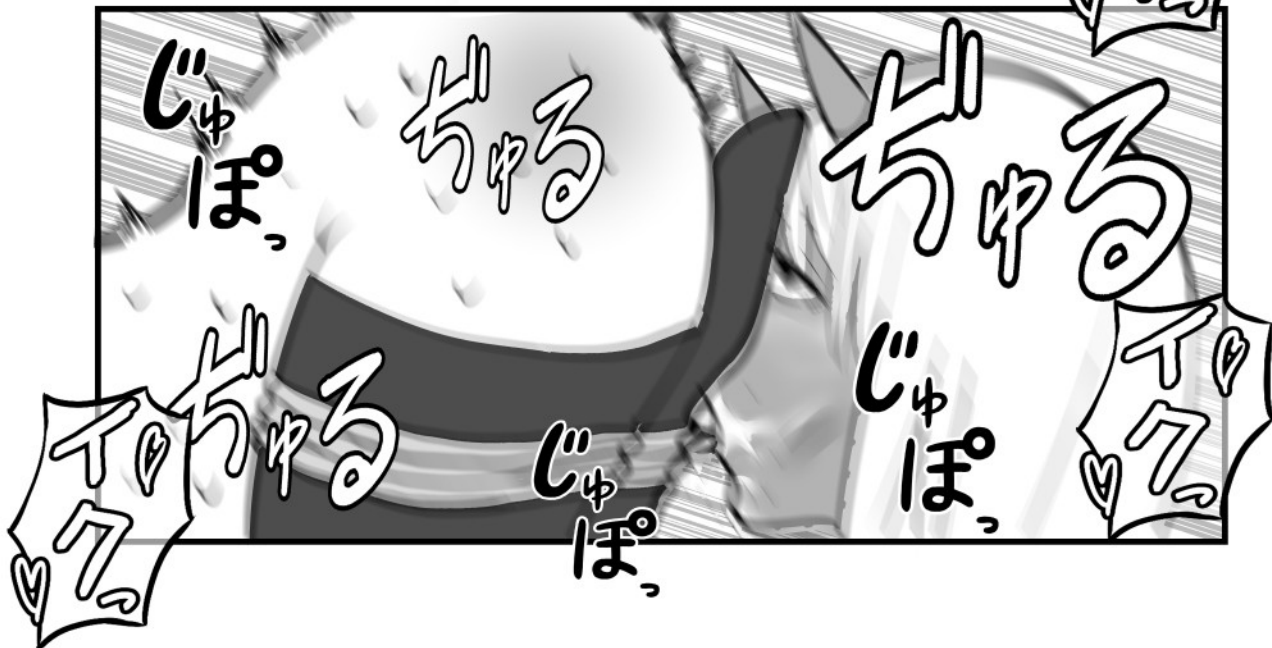
おおお♡♡♡

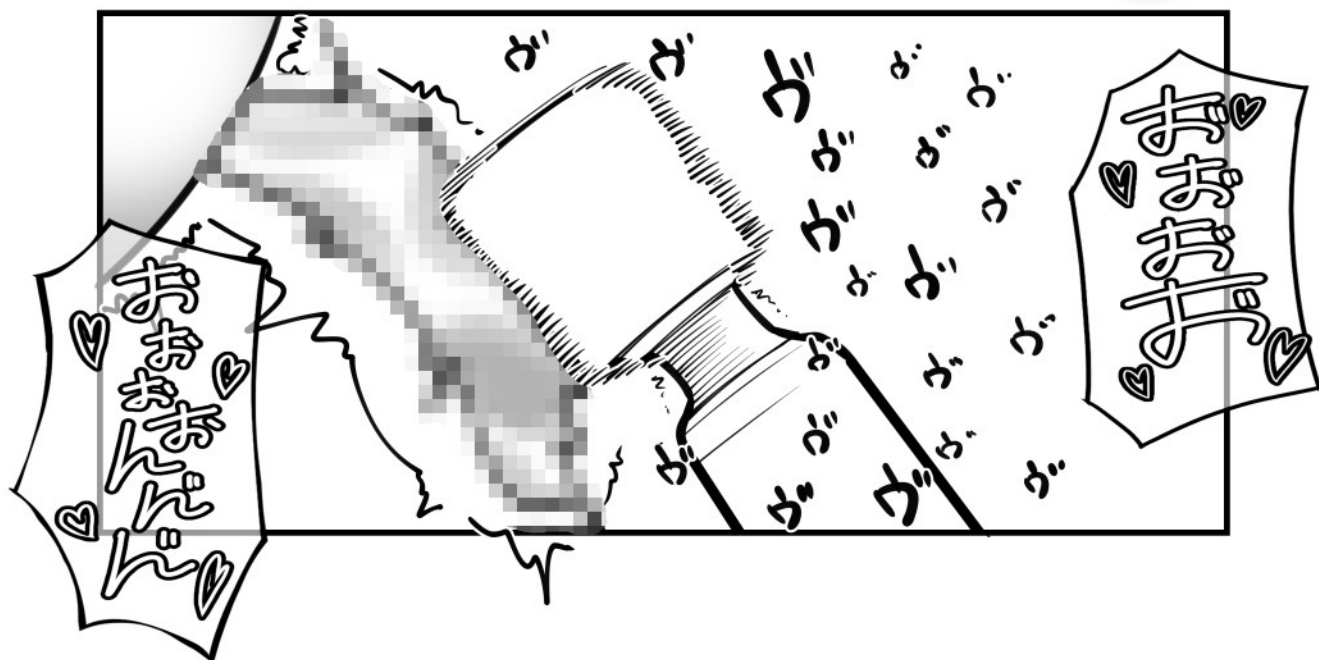
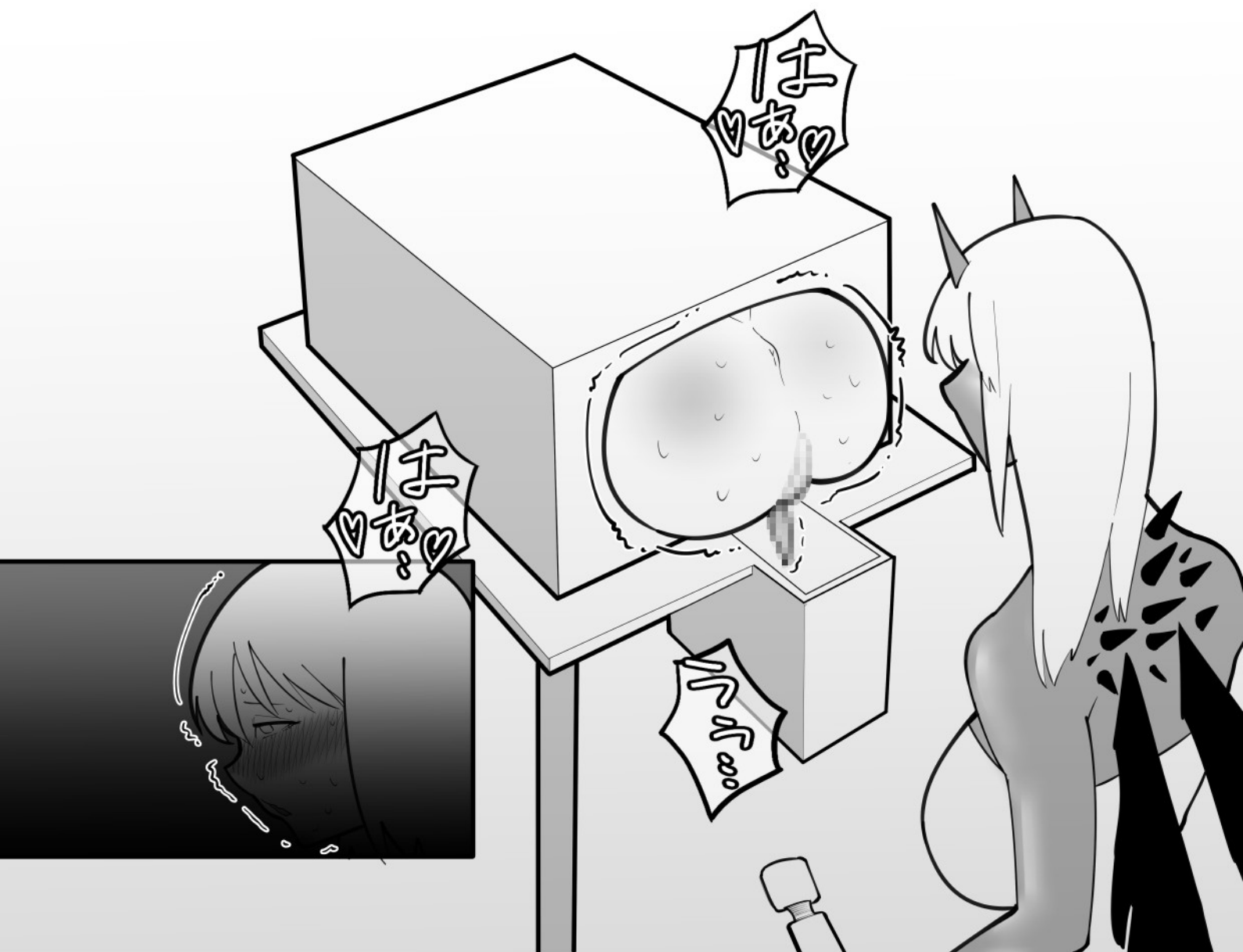
おお♡♡♡

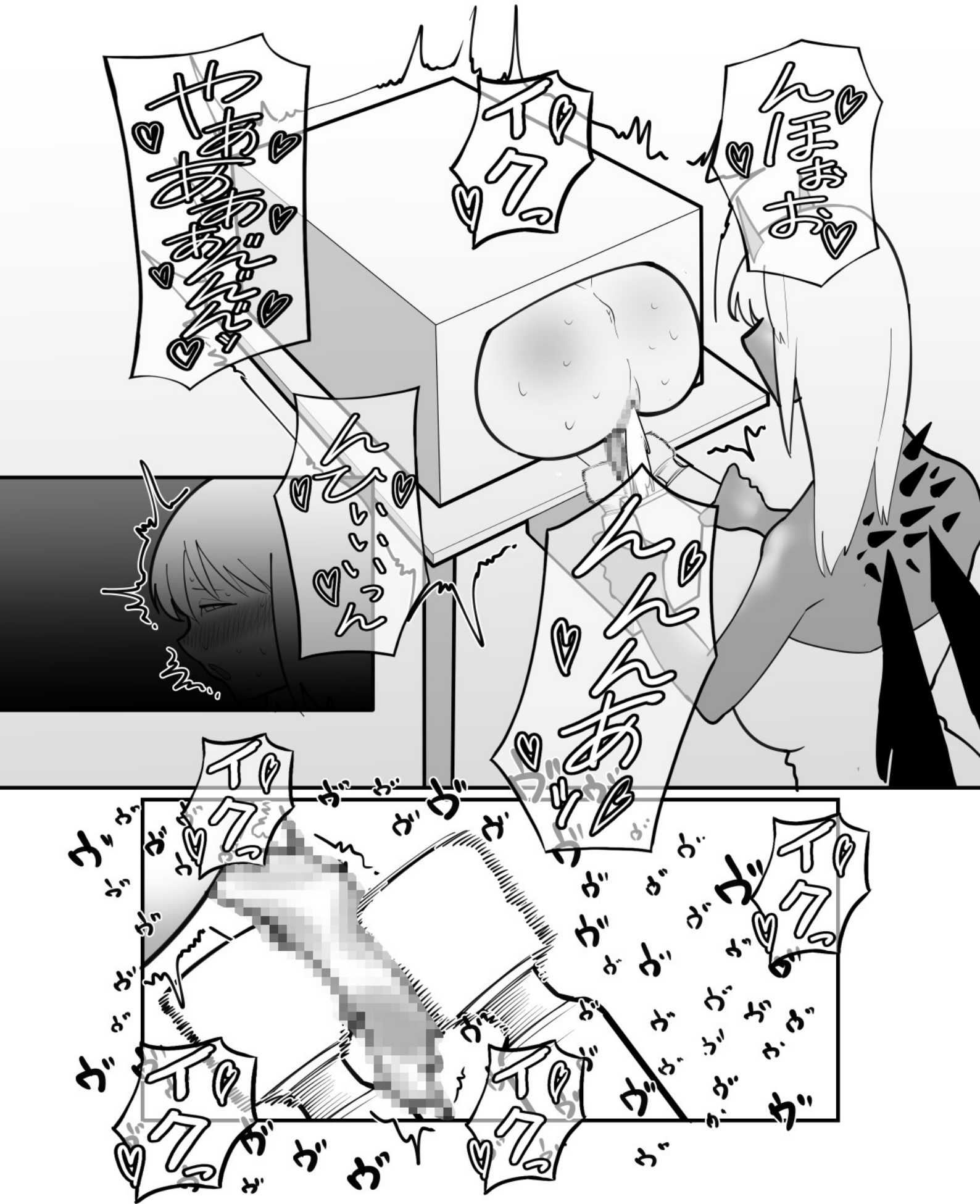
おおお♡♡♡

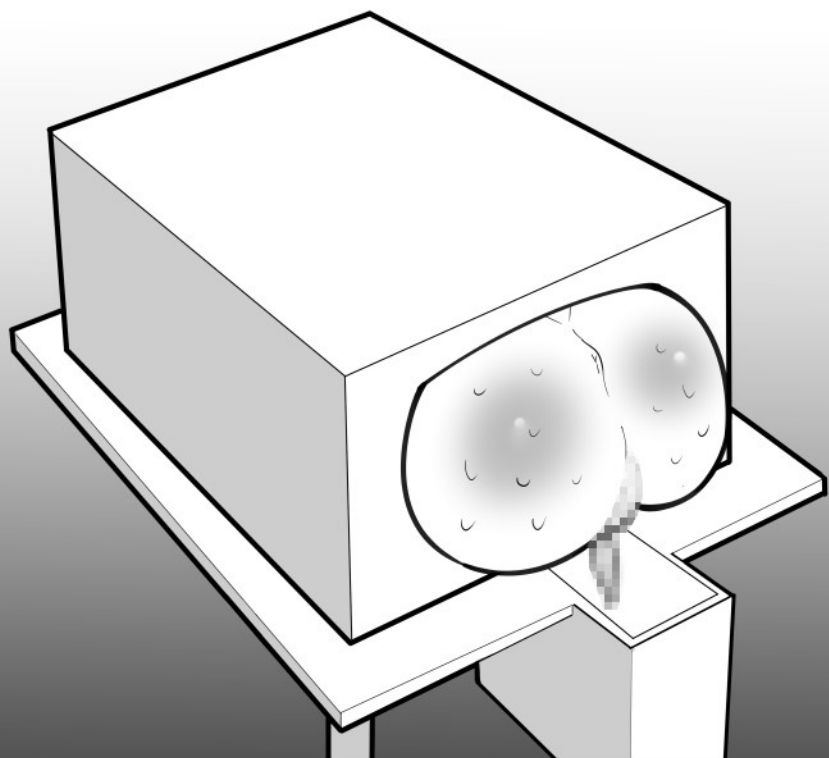












そして2日目の
回収が終わった

すでに、気力はない

ただただ疲労困憊
という状況である

何もない

過去の反省も

現状への不満も

未来への不安も

そして、また
食事を胃に
流し込み
眠りに付くのだった